

「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介 タイムテーブル

6月18日(水)	Time	6月19日(木)
聖和学園短期大学 短期大学生の職業支援につながる簿記会計教育 の新たなアプローチ:実践的アクティブ・ラーニング による理解と資格取得の促進	10:00	創価大学 教職学一体でキャリア支援を行うピア・サポートチーム
	10:30	
社会福祉法人竹清会 介護施設インターンシップ「反響:介護の世界 がこんなだと思わなかった」キャリア形成は 入職後から上司と協働で取り組む体制を構築	10:45	山形大学 山形大学における「学生ファースト」 のキャリア・就職支援の挑戦
	11:15	
藤枝製紙株式会社 & 静岡産業大学 「学生をエンカレッジするオルタナティブ なインターンシップ」の事例紹介	11:30	株式会社アクティブアンドカンパニー 日本の奨学金の現状と解決策～奨学金の代理返還 を、企業の力に変える、新しい社会の仕組み～
	12:00	
横浜商科大学 教職協働によるキャリア形成支援科目の 実践と成果に関する事例	13:00	佐賀大学 障害などのある学生を対象とした正課外での取り組み ～企業との連携によるキャリア支援プログラムの事例～
	13:30	
新潟大学, 株式会社ジオグリフ & JETRO 国境・地域を越えた外国人留学生の オンライン・インターンシップ ～地域と世界を繋ぐ グローバル人材へのキャリア教育のために～	13:45	京都医療科学大学 医療系大学における入学前から卒業(就職) までの一貫したキャリア支援
	14:15	
広島大学 多様なバックグラウンドとニーズを備えた博士学生 およびポストドクターへのキャリア支援について	14:30	(一社)企業アクセシビリティ・コンソーシアム 障害のある学生のキャリア教育・就職支援の事例紹介
	15:00	
NPO法人ブランディングポート 大学生のキャリア自律を育む 長期実践型インターンシップB-CAMPIについて ～専属メンターによる内省支援の効果～	15:15	奈良先端科学技術大学院大学 & 森興産株式会社 NAIST留学生キャリアガイドの開発と英語による キャリア支援 ー多言語支援の実践事例ー
	15:45	
テーマ別交流会 1日目	16:00	テーマ別交流会 2日目
	17:00	

※ 各事例紹介の発表概要は、2ページ目、3ページ目をご覧ください。

6月18日(水)「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介 発表概要

Time	発表機関	タイトル
	発表概要	
10:00-10:30	聖和学園短期大学	短期大学生の職業支援につながる簿記会計教育の新たなアプローチ：実践的アクティブ・ラーニングによる理解と資格取得の促進
	日商簿記3級～2級の資格は、就職活動等において有利とされているが、社会人経験のない短期大学生にとっては、企業活動や取引の実感が乏しく、用語や仕訳、決算書との関係性を理解しにくい。その結果、機械的な暗記に偏り、簿記会計を苦手と感じる学生が少なくない。本発表では、この課題に対応するために導入した、仮想企業の経営を通じて学ぶアクティブ・ラーニング手法を紹介する。さらに、仕訳ルールの単純化や会計原理のシンプルな体系化によって、学生が「楽しく・深く・実践的に」簿記会計を理解できる構成とした。 なお、司書などの職種は就職先が限られており、希望しても就業が難しい場合も少なくない。そうした場合でも、簿記資格を取得していれば、就職に有利となり、職業選択の幅を広げることができる。資格取得の支援だけでなく、将来の企業分析にも役立つ技能の習得を目指した授業実践を報告する。	
10:45-11:15	社会福祉法人竹清会	介護施設インターンシップ「反響：介護の世界がこんなと思わなかった」キャリア形成は入職後から上司と協働で取り組む体制を構築
	官民が一体となり、学生の皆様に介護業界を知って頂くためのインターンシップ、希望があれば資格取得支援する制度が都・市区町村において実施されています。入職後のキャリア形成は介護報酬内において「処遇改善の仕組みとして介護業界ではそれぞれの事業所が立案、実施、報告」が求められています。私ども法人においても、無資格者・専攻科目以外の学生が入職しても、上期、下期に目標を所属長と協議の上、協働作業で取り組む体制が構築されています。その目標を達成することで昇給、昇格となり、職務が増えるが年収も上がります。ひと昔前の低待遇とは無縁であり、離職率も低下、幸せな家庭を築いております。正直、学生の皆様、学校の先生方におかれましても、イメージがわかないと思いますが、様々なAI等の力も活かし、生き生きと頑張っている新卒者の入職時の不安から、成長をして事業所責任者になる夢と希望と人望を知って頂く機会になればと思います。	
11:30-12:00	藤枝製紙株式会社& 静岡産業大学	「学生をエンカレッジするオルタナティブなインターンシップ」の事例紹介
	各大学では3年次の夏でも就職活動に向けた意識が充分でなく、就職活動をためらう学生が一定数いるのではないのでしょうか。そうした学生に対し、就業経験を通じて自己効力感を高め自分理解・仕事理解を深めてほしいという思いから、フィードバックを重視したインターンシップを実施しました。本発表では、このインターンシップを通して学生がどのように変化したか、また、具体的な内容やツールについてご紹介いたします。	
13:00-13:30	横浜商科大学	教職協働によるキャリア形成支援科目の実践と成果に関する事例
	本発表では、大学における教職協働によるキャリア教育の実践事例とその効果について紹介する。2023年度より、本学では2・3年生対象の全学必修キャリア形成支援科目において、キャリアセンター職員と教員(科目コーディネーター)が連携し、授業設計と運営を共同で行っている。この取り組みにより、授業内のキャリア教育と授業外の個別支援が一体となり、より効果的な学生支援を実現している。授業では、「社会で生きる」「社会で働く」などのテーマを設け、共通教材をもとに各クラスでグループワークを積極的に取り入れた実践的な学びを展開。授業外では、キャリアセンターが個別の相談や支援を担う。これにより、学生は理論と実践を往復しながらキャリア意識を高めることができ、一定の教育的効果が得られている。また、キャリアセンターにとっても、授業と連動することでより多くの学生への接点が生まれ、支援の幅と質の向上につながっている。	
13:45-14:15	新潟大学、株式会社ソジオグリフ&(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)	国境・地域を越えた外国人留学生のオンライン・インターンシップ～地域と世界を繋ぐグローバル人材へのキャリア教育のために～
	2025年3月に、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟県外企業(株式会社ソジオグリフ)と連携して、新潟大学は本学在籍の私費留学生やUMAP交換留学生、JICA元留学生及び協定校の元交換留学生を対象に、国境・地域を越えて約一ヶ月のオンライン・インターンシップを行った。2022年「三省合意」改正のインターンシップの新基準等を参考に、今回のオンライン・インターンシップを設計・評価した。その結果、多くの参加学生から「大学在学中に勉強してきたことを実際に使い、より専門的な経験を積むために、このようなインターンシップがもっとあればいい」といった好評を得た。また、新潟県外企業(ソジオグリフ)は「外国人留学生のオンライン・インターンシップについて、今回初めて新潟大学と連携し、国境・地域を越えて実行できたので、これを今後の外国人材のオンライン・インターンシップの企画や実施、採用に繋げていきたい」と評価した。	
14:30-15:00	広島大学	多様なバックグラウンドとニーズを備えた博士学生およびポスドクターへのキャリア支援について
	高度な教育研究能力を備えた博士課程後期の学生および学位を取得して任期付きなどのポジションで勤務し就職活動を継続している若手研究者は、学部生や修士課程の学生に比べて、年齢だけでなくライフイベントを含む社会経験が多様である。アカデミア以外での就職を目指す場合には、指導教員やキャリアセンター職員などによる指導助言を行うことが、ミスマッチや就職困難を防ぐ上で効果的と見られる場合もある。また、いわゆる「英語トラック」により渡日して博士課程後期に進学した留学生や学位を取得して数年内の外国人若手研究者の中には、日本での就職に「日本語バリア」や文化の違いに由来する困難を抱える場合もまま見られる。本発表では、発表者が従来行っているキャリア支援活動とその成果についてご紹介しながら、経歴や言語、文化の多様な博士人材がキャリア目標を達成する上での課題と解決策について、皆様と一緒に考えてみたい。	
15:15-15:45	NPO法人ブランディングポート	大学生のキャリア自律を育む長期実践型インターンシップB-CAMPについて～専属メンターによる内省支援の効果～
	NPO法人ブランディングポートが展開する「B-CAMP」は、企業と連携した地域課題解決型プロジェクトと、学生一人ひとりに寄り添う専属メンターによる内省支援を組み合わせた、新しい形のインターンシッププログラムです。学生は約6ヶ月にわたる実践的なプロジェクトに参加しながら、2週間ごとに行われる1対1のオンラインメンタリングを通じて、自分自身を深く見つめ直し、キャリアについて主体的に考える力を育てていきます。本発表では、野村不動産・埼玉大学との産学民連携による具体的な事例をもとに、若者の自己理解とキャリア形成をどのように支援できるかをご紹介します。経済産業省主催キャリア教育アワードを受賞した注目の取り組みです。	

6月19日(木)「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介 発表概要

Time	発表機関	タイトル
	発表概要	
10:00-10:30	創価大学	教職学一体でキャリア支援を行うピア・サポートチーム
	創価大学では過去20年以上にわたり、教員・職員が関わってキャリア支援の学生ピアサポートスタッフを育成・運営し、学生支援を行ってきました。これまでの経過と得られた効果・課題や今後の展望等についてお話したいと思います。 ■概要(予定) 1. ピア・サポートチーム結成の経緯・歴史 2. キャリア支援全体の中でのピア・サポートチームの位置づけ 3. CSS(キャリアサポートスタッフ)とRSS(リクルートサポートスタッフ)の役割の違いや、具体的な取り組み 4. 卒業後の大学への関わり 5. 効果や課題 ・今後の展望 ・質疑応答といった内容で事例紹介します。	
10:45-11:15	山形大学	山形大学における「学生ファースト」のキャリア・就職支援の挑戦
	山形大学キャリアサポートセンターは、学内イベントの学生集客に苦慮した経験から「学生ファースト」の支援へと転換し、学生が必要な時に効率的に情報へアクセスできる体制を構築しました。これは本学の「何よりも学生を大切にする」基本理念に基づくものです。本発表では、以下の取り組みを紹介します。1. 時間と場所を選ばない「オンデマンドコンテンツ」開発: 大手就職情報サイト運営会社等と連携し、就職ガイダンスやOBOG訪問を疑似体験できるコンテンツを開発。学生は自身のペースで必要な情報を活用できます。2. 学生と企業との気軽な出会いを創出する「企業交流会(座談会)」開催: 大学生協と連携し、学生食堂等で軽食を囲みながら企業担当者と直接話せる場を提供。学生はリラックスした雰囲気ですぐ企業理解を深めます。さらに、昨年紹介した組織横断による就職データ等を活用したIRオフィスとの連携についても、その進捗と成果を報告します。	
11:30-12:00	株式会社アクティブアンドカンパニー	日本の奨学金の現状と解決策 ～奨学金の代理返還を、企業の力に変える、新しい社会の仕組み～
	奨学金は、日本の優秀な人材育成のために創設されました。しかし、景気の変動、自然災害、感染症の発生等でライフプランに影響を与え、奨学金の返還が大きな負担となる場合があります。本事例紹介では、奨学金の現状とともに、ご参加の皆様にもご参画いただける奨学金の代理返還という解決策をご紹介します。	
13:00-13:30	佐賀大学	障害などのある学生を対象とした正課外の取り組み ～企業との連携によるキャリア支援プログラムの事例～
	佐賀大学と企業の連携により実施した、障害などのある学生を対象としたキャリア支援プログラムの事例紹介です。障害などのある学生は、特性ゆえに生じる様々な困り感から、インターンシップへの応募を敬遠するなど、積極的な就職活動が難しい場合があります。加えて、身近に障害を持ちながら就職したロールモデルが少ないこともあり、一部の学生においては具体的な将来像を描くことが困難であると指摘されています。これらの課題に対応するため、佐賀大学ウェルビーイング創造センターを中心に、企業と連携した正課外のキャリア支援プログラムを開始しました。2024年度は、2社の協力を得て、延べ4名の学生が参加しています。 本発表では、プログラムの概要、実施による成果、今後の展望について報告します。	
13:45-14:15	京都医療科学大学	医療系大学における入学前から卒業(就職)までの一貫したキャリア支援
	本学は医療技術(放射線技術)を学ぶ大学です。殆どの学生は診療放射線技師国家資格を取得して医療機関へ就職するため、これまでその流れに即したキャリア支援を充実させてきました。ただ大学の選択時に将来自分が医療機関で働くということを十分に理解しないまま入学して来る学生も少なくありません。本学では診療放射線技師として医療機関で働くという職業選択が暗黙の前提となっている環境であり、現状ではその他の進路に触れる積極的な機会がありません。そのため一昨年度から進路選択の視野を広げるべく、学んでいる放射線技術を応用できる企業への職業体験を開始しました。また、昨年度にはゼミの研究で放射線に関するカードゲームの作成を研究テーマとした取組みが始まり、そこで新しいものを企画し、作成する経験を積んだ学生が企業を目指すといった変化が生まれました。この新しい流れを今後のキャリア支援に活かす取組みを進めていきます。	
14:30-15:00	一般社団法人企業アクセシビリティ・コンソーシアム	障害のある学生のキャリア教育・就職支援の事例紹介
	ACE(企業アクセシビリティ・コンソーシアム)は、「企業の成長に資する障害者雇用の新しいモデルの確立」を目指し、国内企業39社が加入して活動する団体です。障害のある大学生のキャリア支援にも積極的に取り組み、学生向けのオリジナルプログラムやセミナーを開催する他、全国の大学関係者や行政関係者と意見交換を行っています。今回は、ACEの活動紹介およびACE会員企業の障害者雇用の事例をご紹介しますながら、障害のある学生のキャリア支援に今必要なことは何か、お話できればと思います。	
15:15-15:45	奈良先端科学技術大学院大学 & 森興産株式会社	NAIST留学生キャリアガイドの開発と英語によるキャリア支援 一多言語支援の実践事例一
	奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)では、世界約40カ国から多様な留学生が集う環境のもと、日本での就職を目指す留学生に対し、早い段階からキャリア形成の理解を深め、多様な進路の可能性を提供する取り組みを行っています。 その一環として制作されたのが、「NAIST CAREER GUIDE」です。本冊子は、NAISTキャリア支援室と森興産株式会社(WA.SA.Bi.)が共同で制作したもので、留学生に向けた就職支援プログラム、修了生インタビュー、日本語教育の取り組みなど、英語話者留学生に向けた実践的な情報を網羅した内容となっています。 本発表では、NAISTにおける留学生の現状と日本就職への期待、そして「NAIST CAREER GUIDE」制作の背景をご紹介します。また森興産株式会社(WA.SA.Bi.)からは、本学との連携事例や、多言語での留学生就職支援の取り組みについてお話しします。	